

【市川 Special 大会、開催されました！！】

2月11日、市川市バドミントン協会主催「市川 Special 大会」が開催されました。今年も、県内外各市区の代表チームに多数ご参加いただき、計11チームをトップリーグとセカンドリーグの2つに分け、試合を行いました。市川市からも、A、Bと2チーム編成して参加しました。



[A チーム]

鍋島 達也 折原 凌 八巻 凌 村上 港 北村 拓未
長野 来夢 入山 晴香 村上 美羽 野口 怜奈

[B チーム]

赤川 誠 畠山 大地 大塚 康平 漆原 昇 下澤 将久
田村 早苗 沼田 尚美 竹内 英子 八田 紗弥 竹内 怜

また、事前にたくさん周知させて頂きましたとおり、初の試みとして“市川市チーム（Nチーム）応援企画♪”も賑やかに行われました!!

この大会、市川市バドミントン協会主催ですので、まずはNチームの強化の一環であること、加えて、各市区のチームも含め、「地元愛」、「ふるさと愛」を高めていただくことが大会の趣旨にもなっています。

団体戦で、かつ、各市区の「看板」を背負って試合を行いますので、緊張感とともに、ある意味“使命感”“責任感”といった、普段とは異なる重責を感じた選手も少なくないと思います。

負けが濃厚となったとしても、簡単には諦められない、そんな醍醐味が団体戦にはあるのかもしれませんが。特に、今年は応援団が観客席から後押ししてくれましたので、いつも以上に頑張れたと思います。

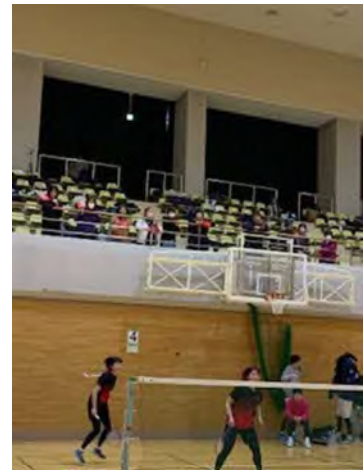
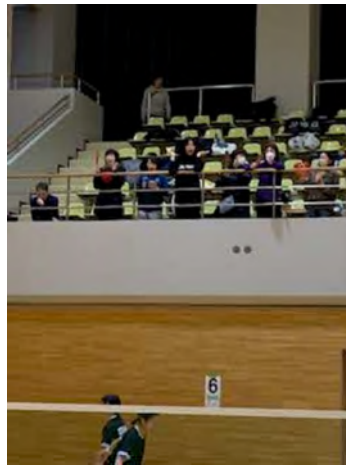
成績は、ホームページに掲載されているとおりですが、Aチームは見事、準優勝という、平成25年度大会以来のファイナリストになりました♥

選手の頑張りに加え、応援団のパワーも、準優勝という結果に結びついた原動力になったものと改めて思う次第です。

また、Aチームの野口選手、Bチームの竹内（怜）選手は、それぞれ学生ですが、大舞台でも一生懸命にシャトルを追い、チームの勝利に大きく貢献しました。

特に、野口選手は、千葉市との決勝戦でのL Sにおいて、ファイナルでの大激戦。最後まで、手に汗握る熱戦を演じてくれました。こういった経験が、若い選手を成長させてくれるものと信じています。

来年こそ優勝目指して、また新たに頑張ります！！



〔選手の向こうに、応援団の姿が〜!! 当日は約 40 名もの応援団の姿に感謝×2〕



〔団体戦ならでのペアリング〕



〔頑張った学生諸君!!〕



〔激闘を終えて〕



〔文責：強化担当理事 杉町〕